



(出席者)

堀 良慶
伊東總吉
鈴木忠男
中村 徹
秋山 功
新井 博
和田孝明・幸子
鈴木正道
木村悦雄・正子
福井 豊
横山俊樹
福田豊万
佐々木 征
野口 勉
宇都宮義文
畝 一雄(電話参加)
金子茂夫
井澤尚子

あーと・わの会 (通称「わの会」)

第54回放談会

日時 2019年 4月20日(日) 13時~16時

場所 TKP池袋カンファレンスセンター

出席者 (計20名)



第54回放談会(発表順)

出品者 堀 良慶さん



作家名	中村忠二
作品名	「ノライヌと人」
材料・技法	モノタイプ(版画)
制作年	1966年
サイズ	18×18cm

コメント

絵は癒し、活性化、気づきの
為のコレクションです。

情けなく、いじけた犬は過去の
私のワンシーンです。

作家略歴 中村忠二 (なかむら・ちゅうじ/1898～1975年)

兵庫県生れ。1918年上京。日本美術学校入学。28年詩集「願望」を出版。白日会展、光風会展、国画会展に入選。36年文展鑑査展に入選。51年日本水彩連盟会員。58年よりモノタイプで虫や花の作品を制作。75年没、77歳。

出品者 伊東總吉さん



作家名	野田哲也
作品名	「日記 1976年11月19日」
材料・技法	和紙・木版 シルクスクリーン
制作年	1976年
サイズ	47.5×35.5cm
Ed.30 H.C.5 A.P.5	27/30

コメント

作者36才の時の作で、二児の父として子の成長ぶりのテーマが多いが、本作は静物画風で、黒光りの台、新聞包み、布製小物入れの三段構えで、英字新聞の包装がポイントか。

作家略歴 野田哲也 (のだ・てつや/1940年～)

熊本県生れ。1963年東京藝術大学院絵画研究科油絵専攻卒。65年同大学大学院絵画研究科油絵専攻修了。68年東京国際版画ビエンナーレ国際大賞を受賞。91年東京藝術大学教授。2014年大英博物館で半年間個展を開催。東京藝術大学名誉教授。

出品者 鈴木忠男さん



作家名	森本秀樹
作品名	「チェロと少年」
材料・技法	キャンバス・油彩
制作年	2019年
サイズ	18×14cm F0号

コメント

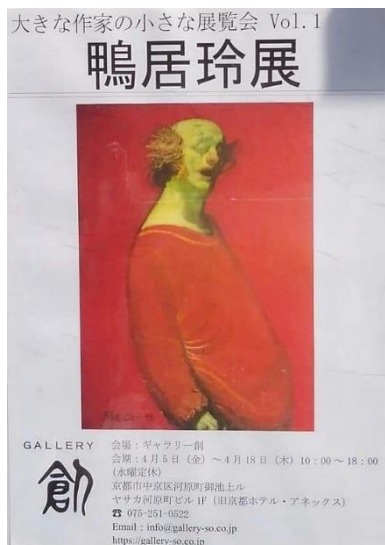
昨日(19日)までやっていた4人展(ギャラリーKANI)(参考展示で長谷川利行もあり)で初日買ったのを最終日に取りに行き、次の日に見せませす。森本の絵画は10点以上持っています。アンズ色、秀サインも珍しい。(秀サインは初めて買った)5,6年待って気に入った。ぱっと見るとヘタクソだけど、ちゃんと指は5本あり、白色もとぎれているけど、細かく描かれている。

作家略歴 森本秀樹 (もりもと・ひでき/1951年～)

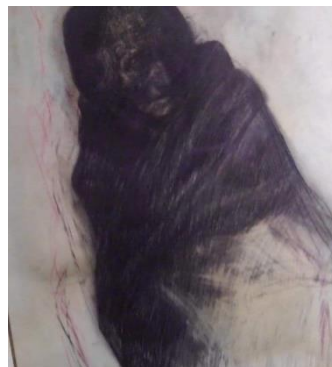
愛媛県生れ。武蔵野美術短期大学油絵専攻科卒。1980年日仏現代展出品。イタリア美術展出品。90年上野の森美術館大賞展93年佳作賞。91年昭和会展出品。ギャラリー汲美で個展。2001年小田急百貨店新宿店で個展。07年東御市立梅野記念絵画館で個展。

出品者 畝 一雄さん

作家名	鴨居 玲
今回はネットでの参加です！	



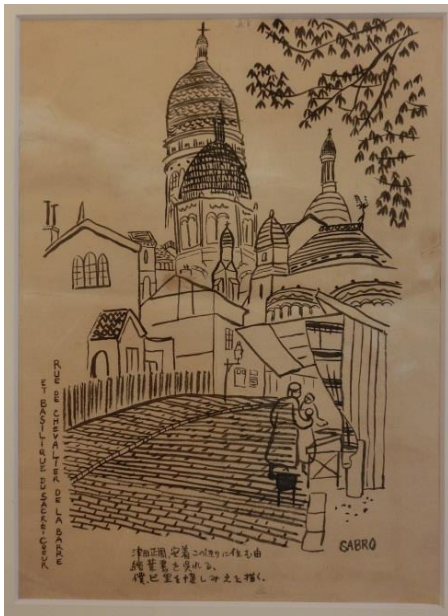
コメント 京都に行きました。初日5時間、最終日4時間観賞。日帰りでした。美術館級の名品でした。



作家略歴 鴨居 玲 (かもし・れい/1928～1985年)

出生地は諸説あり。1946年金沢美術工芸専門学校入学。宮本三郎に師事。50年二紀会同人に推挙。52年田村孝之介の六甲洋画研究所に学ぶ。59～61年渡仏。68年二紀会会員。69年昭和会賞、安井賞。71～74年スペインで制作。84年金沢美術工芸大学の非常勤講師。84年兵庫県文化賞。神戸市で自死、57歳。

出品者 中村 徹さん



作家名	(伝)長谷川三郎
作品名	「パリ風景」
材料・技法	紙・墨
制作年	不詳
サイズ	28×23.5cm

コメント 岩本昭「わたし流美術館」絵
画蒐集綺録 三好企画 1993年11月30日
発行 p116掲載作品
真贋研究中です。

作家略歴 長谷川三郎 (はせがわ・さぶろう/1906～1957年)

山口県生れ。1929年東京帝国大学文学部美学美術史科を卒業。29年から32年まで渡米欧。34年新時代洋画展を結成。37年自由美術家協会を結成。日本の抽象美術の旗手として著作。53年渡米、カリフォルニア美術大学、アメリカの東洋文化研究所で講義。サンフランシスコで没、51歳。

出品者 秋山 功さん



作家名	開 光市
作品名	「昼寝」
材料・技法	キャンバス・油彩
制作年	不明
サイズ	サムホール

コメント

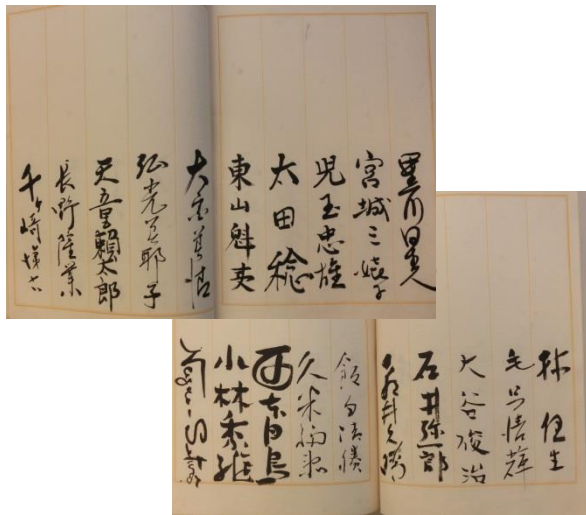
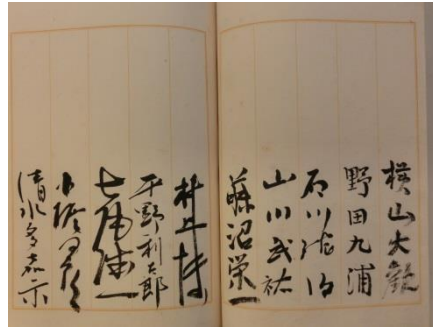
今回の作品は、横たわる人が船らしきものの上で宙に浮いている。絵肌は細密に描かれ美しい。現実にはあり得ない空想の世界が観る者を想像の世界に誘う。

作家略歴 開 光市 (ひらき・こういち/1958年～)

石川県金沢市生れ。82年金沢美術工芸大学卒業。国展初入選。以後毎年出品入選。84年同大大学院修了。88年北陸中日美術展大賞受賞。91年国展国画賞受賞。95年安井賞展入選。97年国展会員推挙。98年昭和会展優秀賞受賞。2001年安田火災美術財団選抜奨励賞。16年石川県立美術館で開光市展開催。

出品者 新井 博さん

作品名 石井鶴三 個展
芳名録 2冊
制作年 不明



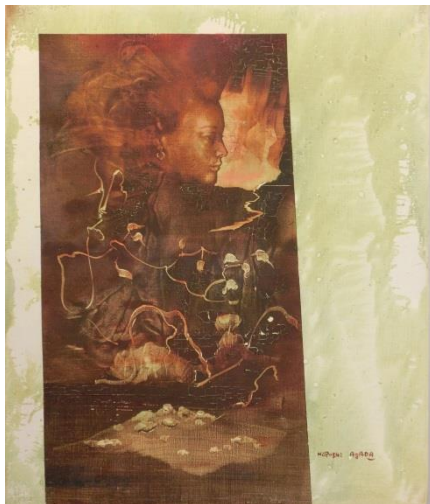
コメント

石井鶴三 個展の芳名録。彫刻・平櫛田中他
日本画・横山大観、東山魁夷、奥村土牛、
洋画・安井曾太郎、小糸源太郎、松本俊介 時代
版画・棟方志功、山口源。
小林秀雄、花柳章太郎、伊志井寛 他 幅広い交
遊がうかがえる。

作家略歴 石井鶴三 (いしい・つるぞう/1887~1973年)

東京下谷生れ。長兄は石井柏亭。98年前年父(石井鼎湖)が没し、矢橋家の養子となる。1904年実家石井家に戻る。小山正太郎の不同舎で絵を、加藤景雲に木彫の技法を学ぶ。06年「東京パック」の記者となる。10年東京美術学校彫刻科選科卒。11年文展で「荒川嶽」が褒状。14年奈良で佐藤朝山と出会う。15年朝山の紹介で日本美術院研究所にて造型の研究に励む。同年に院友となる。16年水彩画「行路病者」が第3回二科展で二科賞。22年日本創作版画協会会員。24年日本水彩画会会員。春陽会会員。44年東京美術学校彫刻科教授。50年日本芸術院会員。73年3月17日没、享年85歳。

出品者 和田孝明・幸子さん



作家名 麻田 浩
作品名 劫火(ごうか・こうか)
材料・技法 キャンバス・油彩
制作年 不詳
サイズ 45.5 × 38cm

コメント

劫火とは、世界が滅亡する時に、この世を
焼き尽くすという猛火のことである。
人を惹きつけるこわさがある絵である。

作家略歴 麻田 浩 (あさだ・ひろし/1931~1997年)

京都市生れ。1955年同志社大学卒。68年新制作協会会員。京展須田賞。71年渡仏。プリ・ナショナル賞受賞。カンヌ国際版画芸術ビエンナーレ第1位受賞等多数。細密な洋画を制作し、銅版画家としても活躍。京都府文化功労賞。97年自死。65歳。

出品者 鈴木正道さん



作家名	大沢昌助
作品名	「そして笑う」
材料・技法	紙・木版画
制作年	1995年
サイズ	軸装

コメント

こんな軸でも掛けてお茶事などどうであろう。文化・文政の江戸、大川をはさんで見世物小屋が並ぶ。先代 林家正蔵の「一眼国」のマクラを聴くような作品。

作家略歴 大沢昌助（おおさわ・しょうすけ/1903～1997年）

東京生れ。1928年東京美術学校西洋画科卒。42年二科賞。43年二科会会員。54年多摩美術大学教授。65年国際形象展で受賞。81年池田20世紀美術館で個展。91年練馬美術館で回顧展。95年中村彝賞。東京で没、93歳。

出品者 木村悦雄・正子さん



作家名	瑛九
作品名	「ダンス」
材料・技法	フォトデッサン
制作年	1950年
サイズ	27×21cm

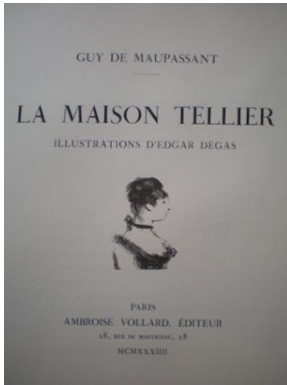
コメント

「瑛九」の2019アートパーゼル香港への出展を例に取りながら、一人の日本の作家の存在が、世界のアートシーンに向けて発信をされる、それを拡大していくことの大変さ、必要性を改めて検証してみたい。そこには、何十年単位になる一人のギャラリストの執念ともいうべき思いと、時として人生の流れを左右する、運という見方も重なって、世界に向けての発信が可能になった。

作家略歴 瑛九（えい・きゆう/1911～1960年）

宮崎市生れ。日本美術学校中退。洋画家、版画家、写真家。前衛的、抽象的な作品で知られる。フォトデッサンを制作。1937年自由美術家協会創立会員。51年デモクラート美術家協会を結成。創造美育協会に参加。東京で没、48歳。（

出品者 福井 豊さん



作家名	エドガー・ドガ
作品名	挿画本「メゾン・テリエ」 収録・銅版画色刷2点
材料・技法	フォトグラビュール銅版 (原画モノタイプ)・紙
制作年	1934年(原画制作1876~80年)
サイズ	15.8×20.5cm(下左図) 22.0×23.0cm(下右図)



モーパッサン(1850~93)1881年作短編小説。画商アンブロワーズ・ヴォラール(1865~1939)が原画入手1934年パリで刊行。写真凹版制作はモーリス・ポタン(1874生)。色刷2点モノクロ17点の銅版画収録305部。<略歴>1834/パリ生1855国立美術学校に学ぶ1856渡伊1874より印象派展出品1917/パリで没83歳

出品者 横山俊樹さん



作家名	小向井 美嗣
作品名	「ざくろ」
材料・技法	油彩
制作年	1980年頃
サイズ	F0号

コメント
会社員時代のエピソードが多い作品。

作家略歴 小向井美嗣 (こむかい・みつぐ/1952年~) 青森県百石町生まれ。上京、川崎市内の某自動車工場に勤務。会社を退職し、アルバイトをしながら近所の絵画研究所に通う。指導者は芸大彫刻科卒の先生(氏名不詳)。77年 第一美術展で奨励賞。ブロードウェイ新人賞展入選。79年 第一美術展50回記念大賞。84年 第一美術展会員努力賞。1985年 京都山総美術登龍会展受賞。86年 国際デッサン展入選。88年 広島天満屋、川崎西武で個展。フランス取材旅行。89年 広島天満屋、船橋西武、川崎西武、錦糸町西武で個展。月刊美術11月号NO.170に「写実のウラにひそむ神の領域」として取り上げられる。現在無所属。小向貢嗣は細密画風から同一人物と推定。洋画家

出品者 福田豊万さん



作家名	梅津拓雄
作品名	「ガブリエル」
材料・技法	キャンバス・油彩
制作年	2017年
サイズ	F6号

コメント

2018年春頃 京橋の画廊フロレゾンで初めて出会い面白い絵だと思い購入しました。大天使ガブリエルを子供の姿で表現してその表情も楽しくつい買ってしまいました。初個展でもあり安価だったので。

作家略歴 梅津 拓雄（うめつ・たくお/1974～）山形県出身 所沢市在住
雑誌の技法講座やインターネットなどで独学で油彩画を学ぶ
2018年6月都内京橋にて初個展

出品者 佐々木 征さん



作家名	互井開一
作品名	「卓上静物」
材料・技法	グワッシュ
制作年	1955～1960年代
サイズ	16×23.2cm

コメント

誰の作品か気にせず、日本人画家には珍しい画風に興味が湧き購入した経緯がある。

作家略歴 互井開一（たがい・かいいち/1904～1967年）
埼玉県生れ。1924年埼玉師範学校卒。32年日本水彩画会展、太平洋画会展に入選。34年光風会展、35年二科展に入選。36～48年官展に水彩画を出品。41年青樹社で個展。47～48年白日会会員。49年新水彩作家協会創立委員長、55年三軌会と改称、同会委員長。水彩画の主体性を確立に専念。53、58年日本橋、白木屋で個展。62年東京電機大学主任講師。66年銀座松屋で個展。東京で没、63歳。

出品者 野口 勉さん



作家名	不詳
作品名	「Lamp & Mexican Toy」
材料・技法	水彩画
制作年	1978年
サイズ	41 × 31.5cm

コメント

古いスタンド式のオイルランプとメキシコナラ焼の猫を丁寧に描いています。
サインは「Fumito」落款は「小谷」または「史人」と読めます。
作者不詳なので空想は膨らみます。

出品者 金子茂夫さん



作家名	池田満寿夫
作品名	「裸婦」
材料・技法	水彩
制作年	1977年
サイズ	26 × 36cm

コメント

池田満寿夫独特の筆致で描かれた裸婦の水彩画。この裸婦は、丸谷才一著『低空飛行』（新潮社）の表紙の裸婦と同一作品なのだろうか。

著者略歴 池田満寿夫（いけだ・ますお/1934～1997年）

満州生まれ。1955年「実在者」の結成に参加、鬩嘔の紹介で瑛久を知り、デモクラート美術協会会員。56年1960年東京国際版画ビエンナーレで文部大臣賞。65年ニューヨーク近代美術館で池田満寿夫の版画展が開催、版画部長で国際審査員のウィリアム・S・リーパーマンに認められた。66年ヴェネツィア・ビエンナーレ版画部門で大賞。77年「エーゲ海に捧ぐ」で芥川賞受賞。97年没、63歳。

出品者 宇都宮 義文さん

作家名 飯島裕一
作品名 「折紙」
材料・技法 立体折紙
制作年 2018～2019年



コメント 娘の教室の生徒さんの作品に驚嘆。



著者略歴 流山市生まれ、27才。

発行 : あーと・わの会
発行日 : 平成31年4月吉日
編集 : 実行委員 あーと・わの会 放談会チーム
司会進行 金子茂夫
写真、編集(デザイン、フォーマット、字体) 井澤尚子
連絡先 : 事務局(堀 良慶) 〒277-0871 柏市若柴1-358
TEL 04-7134-8293 ryokeihori@yahoo.co.jp